

○ 本校の概要

- ・児童数（全353名、12学級）、教員数（校長1名、副校長1名、主幹教諭2名、主任教諭6名、教諭7名、主任養護教諭1名、非常勤養護教諭1名、講師5名ほか）
・学校支援地域本部「スクールサポートあかまつ」を中心に、感染症対策をとりながら地域力を活かした特色ある教育活動（洗足池を中心とした地域学習、異学年の交流を重視した「なかよし班」活動、金管バンドの演奏等）を推進している。
・校内研究において長年にわたりESD（持続発展可能な社会のための教育）に取り組む、平成25年にユネスコスクールの認定を受け、平成29年度にはそれまでの成果に対し、ESD大賞が授与された。現在もESDのより一層の充実に向けている。
・長年取り組んできた低学年を中心としたモルモットの飼育、委員会活動を中心としたウサギの飼育を現在も引き続き推進している。
・令和2年度より校舎改築工事に着手。千早特別出張所、高齢者利用施設等を含む複合施設となる。令和9年3月竣工予定。令和5年度まで洗足池グラウンドを借りて体育の授業を実施する。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with 11 columns: 大項目, 目標, 取組内容, 取組指標, 取組評価, 目標に対する成果指標, 成果評価, これまでの取組今後の改善策, 学校関係者記入欄 (評価人数, コメント). Rows include categories like '未来社会を創造的に生きる子供の育成', '児童・生徒一人ひとりの学び意欲を高め、確かな学力を定着させます', '子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育成する', 'スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします', '児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境をつくりまします', '学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作ります。'

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A：自己評価は適切である B：自己評価はおおむね適切である C：自己評価は適切ではない D：評価は不可能である の4点について、評価した人